

# 伊奈大嶋城縄張圖

## ①② 丸馬出と三日月堀

城兵の出入りの安全を確保し、敵兵が虎口(曲輪の出入口)へ殺到するのを防ぐ。

## ③ 枡形虎口

大手虎口に設けられた枡形の空間で、虎口を防御する。

## ⑫ 馬出状の小曲輪

城の南縁防御のため構えられた馬出の一種であろう。

## ⑬⑭ 腰曲輪

井戸曲輪へ通じる堀底の通路を監視、防御する小曲輪で、絶えず番兵が監視していた。

## ⑮ 井戸曲輪と井戸

城の生命線である井戸がある。井戸の位置は秘密であり、高い土塁で遮蔽されている。

## ⑯ 本丸の堀

自然の窪地に手を加えた大きな堀で、武田氏以前の大嶋城はこの堀から東の部分である。

## ⑱ 本丸虎口

本丸の出入り口で、木戸跡が確認されている。二の丸とは木橋で連絡されていた。



## ④⑤ 外堀と土塁

城域を区画する堀。堀を掘った土を城側に盛り上げて土塁とし、城内を遮蔽している。

## ⑥ 櫓台跡

城の西、北、南方向を監視する櫓台設置の場所。

## ⑦ 馬出

北端にあり、大手丸馬出を援護、防御する。三の丸とは木橋で連絡か。

## ⑧⑨ 二の丸馬出と堀

三の丸増築以前、二の丸部分までの大嶋城の外堀と大手虎口馬出の跡。元亀2年、三の丸以西が拡張された。

## ⑩⑪ 二の丸虎口と櫓台跡

二の丸の出入り口で、三の丸とは木橋で連絡した。北隅に城の北面を監視する櫓台跡がある。

## ⑰ 堀底を隠す土塁

城の南から堀の底が見えないように土塁で隠し、ここからの侵入にも備えている。

## ⑲ 搦手と埋門

緊急時の避難口で、通路を隠した埋門があった。しかし平時は天竜川への通路であった。